

呉市生活バス及び呉広島空港線の運賃改定等について

広島電鉄株式会社（以下「広電」といいます。）においては、令和 7 年 2 月 1 日に、呉市域内のバス路線を含め全社的に運賃改定（値上げ）及び新たな定期券制度の導入を実施する予定としています。このことを踏まえ、呉市生活バス及び呉広島空港線についても、同様の運賃改定及び新たな定期券制度の導入を実施することとします。

1 広電バス

(1) 運賃改定

ア 改定の考え方

昨今の原材料、燃料費の高騰や人件費の上昇等による経費の増加を踏まえ、運賃改定を行うことにより増収を図り、乗合バス事業の継続性・安定性を高めることを目的としています。

イ 改定の内容（呉市域運行路線の概要）

- ・初乗り運賃を 1 7 0 円から 2 0 0 円に変更
- ・対キロ区間の運賃を 3 0 円から 8 0 円までの間で値上げ

路線名等	運賃制度	運賃	
		現行	改定後
宮原線	キロ制	1 7 0 円～3 8 0 円	2 0 0 円～4 6 0 円
呉倉橋島線		1 7 0 円～8 9 0 円	2 0 0 円～9 7 0 円
吉浦天応線		1 7 0 円～5 8 0 円	2 0 0 円～6 6 0 円
広仁方線		1 7 0 円～5 7 0 円	2 0 0 円～6 5 0 円
郷原黒瀬線		1 7 0 円～8 2 0 円	2 0 0 円～9 0 0 円
辰川線		1 7 0 円～3 3 0 円	2 0 0 円～4 0 0 円
長の本長迫線		1 7 0 円～3 1 0 円	2 0 0 円～3 7 0 円
焼山熊野苗代線		1 7 0 円～6 6 0 円	2 0 0 円～7 4 0 円

(2) 新たな定期券制度「金額式定期券」の導入

運賃改定とともに、定期券利用者の利便性の向上を図るため、「MOBIRY DAYS」の新たなサービスとして、「金額式定期券」制度を導入します。

ア 金額式定期券の特徴

「金額式定期券」は、従来の「区間式定期券」とは異なり、利用する区間や経路の指定はなく、利用者自らが定期券の金額を選択し、購入することができ、本制度の対象路線で、その定期券に設定された運賃（以下「設定運賃」といいます。）以内の区間であれば、路線・区間にかかわらず、追加の運賃は不要で利用できます。また、設定運賃を超える区間は、差額分を支払うことで乗り越しが可能となります。

この「金額式定期券」は、広電のほか、エイチ・ディー西広島株式会社、芸陽バス株式会社及び備北交通株式会社で利用できます（広電電車、広島空港リムジンバス、呉広島空港線などの一部路線は対象外）。

なお、「金額式定期券」制度の導入に伴い、従来の「区間式定期券」は廃止となります。また、「いきいきパス」の取扱いについては、変更はありません。

イ 区間式定期券と金額式定期券の主な違い

別表参照

ウ 利用者にとっての金額式定期券制度導入のメリット・デメリット

メリット	デメリット
○金額式定期券の対象路線であれば、どの路線でも1枚の定期券で利用できる。 ○乗り越したときの精算方法が、「乗り越した区間の運賃（初乗り扱い）」から「定期券の設定運賃と乗車した区間の運賃との差額」に変更となるため、従前より追加費用が減となる。 ○乗り継ぎがある区間の区間式定期券を購入していた利用者は、金額式定期券の場合、従来と同区間の利用でも、定期券の金額が最大で半額となる。	○金額式定期券の有効期間内に運賃値上げがあったときは、差額の支払が発生する。

2 呉市生活バス

(1) 運賃改定及び定期券制度の考え方

呉市生活バスについては、広電バスとの運行重複区間を有していることや、広電バスとの乗り継ぎ利用もあるため、広電と同様の運賃改定を実施します。

また、呉市生活バスにおいても、「MOBIRY DAYS」サービス開始に併せて、広電等と同様に金額式定期券を導入し、利用者の利便性向上を図ります。

なお、これに伴い、従来の区間式定期券は廃止します。

(2) 改定の内容

- ・初乗り運賃を170円から200円に変更
- ・対キロ区間の運賃を30円から80円までの間で値上げ
- ・下蒲刈地区及び安浦地区の運賃は、他の路線の初乗り運賃の値上げ率（20パーセント：1円単位四捨五入）と同様の考え方で算出

路線名等	運賃制度	運賃	
		現行	改定案
下蒲刈地区	均一制	210円	250円
川尻地区		170円	200円
安浦地区		220円	260円
横路交叉点循環線		170円	200円
白石白岳交叉点循環線		170円	200円
昭和循環線北コース		170円	200円
昭和循環線中央コース		170円	200円
昭和循環線南コース		170円	200円
三条二河宝町線		170円	200円
倉橋地区	キロ制	170円～590円	200円～670円
音戸さざなみ線		170円～700円	200円～780円
呉苗代下条線		170円～500円	200円～580円
北原神山峠線(※)		170円～250円	200円～300円
見晴町線(※)		170円～180円	200円～220円
阿賀音戸の瀬戸線(※)		170円～470円	200円～550円
広長浜線(※)		170円～300円	200円～360円
仁方小須磨線(※)		170円	200円
広川尻線(※)		170円～720円	200円～840円
田原藤の脇線(※)		170円～550円	200円～630円

※直通乗継割引運賃適用路線（乗継バス停で広電バスと接続）

(3) 呉市生活バスにおける「MOBIRY DAYS」サービスの開始時期

呉市生活バスにおいては、半導体不足の影響により、車載機器の生産・納入が遅れたため、現時点では、「MOBIRY DAYS」のサービスを開始していません。

現在、鋭意、車載機器の取付作業等を進めており、サービス開始時期が決まり次第、別途、情報提供させていただきます。また、併せて、市政だより等による広報を行います。

※現在利用中のPASPYカード及びいきいきパスについては、PASPYサービスが終了する令和7年3月29日までは、引き続き利用することができます。

3 呉広島空港線

当路線の運賃については、令和4年11月の運賃改定以降、広島空港リムジンバスの運賃と同額とし、今回も同様の改定を行うこととします。

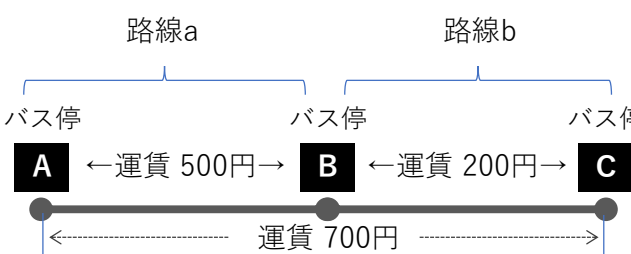
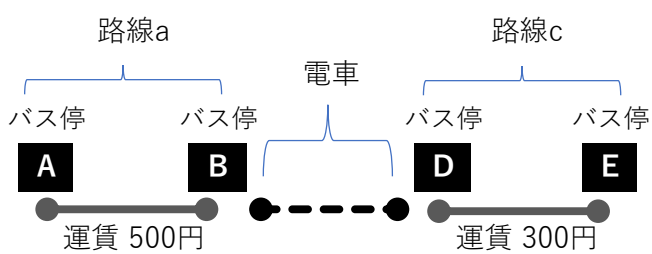
○運賃の比較

区分	運賃制度	普通旅客運賃		備考
		現行	改定案	
呉広島空港線	均一制	片道：1,450 円 往復：2,620 円	片道：1,500 円 往復運賃は廃止	広島空港リムジンバスの運賃と同額

4 今後の予定

令和6年12月上旬	運賃改定に関するアンケート調査（道路運送法（昭和26年法律第183号）第9条第5項の規定に基づき実施）
12月中旬	運賃協議委員会
12月下旬	広島運輸支局に運賃変更に係る届出書を提出（各生活バス運行事業者）
令和7年2月1日	運賃改定実施
	※呉市生活バスにおける金額式定期券の利用・取扱いは、呉市生活バスでの「MOBIRY DAYS」サービス開始と併せて開始となります。
3月29日	PASPYサービス終了

区間式定期券と金額式定期券の主な違いについて

区分	パターン① 乗換えがない場合	パターン② 乗換えがある場合－その1	パターン③ 乗換えがある場合－その2
	 バス停 A バス停 B 運賃 500円	バス停 B でバスからバスに乘換え  路線a 路線b バス停 A バス停 B バス停 C ←運賃 500円→ ←運賃 200円→ ←----- 運賃 700円 ----->	 路線a 電車 路線c バス停 A バス停 B バス停 D バス停 E 運賃 500円 運賃 300円
区間式定期券	■定期券料金 21,000円/月 (A～B区間内での利用を指定した定期券) 指定した区間・経路以外や、他の路線では利用できない。	■定期券料金 29,400円/月 (A～C区間内での利用を指定した定期券) 指定した区間・経路以外や、他の路線では利用できない。	■定期券料金 33,600円/月 (2路線分) + 電車分 内訳 { 路線aの定期券 … 21,000円/月 路線bの定期券 … 12,600円/月 路線a (A～B) の定期券では、路線c (D～E) は利用できない (逆も同様)。
金額式定期券	■定期券料金 21,000円/月 (運賃500円以内の利用を想定した定期券) - 利用ができる区間や経路の指定はなく、利用者が指定した運賃の額で定期券を発行 (パターン②③でも同じ) - この定期券では、運賃500円以内の区間であれば、他の区間や路線でも追加の運賃を支払うことなく乗車が可能 (パターン②③でも同じ)	■定期券料金 21,000円/月 (路線a: 500円) (運賃500円以内の利用を想定した定期券) この場合、運賃が高い方 (路線a: 500円) の定期券で、運賃500円以内の区間 (路線b: 200円) は、追加の運賃を支払うことなく乗車が可能。	■定期券料金 21,000円/月 (1枚) + 電車分 内訳: 運賃500円 (路線a) の定期券 …………… 21,000円/月 この場合、運賃が高い方 (路線a: 500円) の定期券で、運賃500円以内の区間 (路線c: 300円) は、追加の運賃を支払うことなく乗車が可能。